

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
国公立対策講習	2	3年 1類 (A・B・C型)	希望選択
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	国語：共通テスト対策問題集等 英語：適宜ハンドアウト		国語：共通テスト対策問題集等 英語：単語帳、Next Stage 等

科目の到達目標
国語：昨年の過去問題や共通テスト対策問題の演習を重ねて学力の充実を図り、入試問題を解く力を高める。
英語：共通テストにおいて6割以上の正答率を得るため、予想問題に慣れながら会話や長文の英語を速く読むこと、正確に聞くことができるようになるが目標である。

評価の観点と方法について
国語・英語の出席状況と積極的な授業参加、および課題や小テストへの取り組みなどをもとに、総合的に評価する。

	月	学習単元・項目	ねらい	方法・活動
一 学 期	4	1学期 ・問題演習 ・共通テスト問題演習	国語 ・基礎・基本を固め、入試に対応できる力を養う。 ・解答時間を意識して、問題に取り組む。	国語 現代文 ・速読をして要旨（文章の大枠）をつかむ。 ・語彙を増やし、漢字の知識を深める。 古典 ・古文単語や古典文法など基礎を繰り返し確認する。 漢文 ・句法などの基礎を確認する。 ※適宜、小テストの実施、課題等を課す。
	5			
	6		英語 ・単語・熟語・文法、構文など入試問題を解くために必要な基礎知識を徹底的に身に付ける。	英語 ・ユメタン、Next Stage 等を用いて、演習と解説を行う。
	7	夏期講習		

	月	学習単元・項目	ねらい	方法・活動
二 学 期	9	2学期 ・入試過去問題集 ・共通テスト予想問題	国語 ・入試過去問題や昨年の共通テスト過去問題などの演習を重ねて、学力の充実を図る。 ・解答時間を意識し、その感覚を身につける。	国語 ・問題集や入試過去問題を解くことによって、正しい解答を導く力を身につける。 ・マークシート形式や記述式などに慣れ、対応できるよう取り組む。
	10	・共通テスト直前対策	・共通テスト本番に向けての総仕上げをする。	・論理的な文章・文学的な文章・古文・漢文の四問を各二十分のめやすで解けるようにする。
	11		英語 ・共通テスト本番の感覚を身に付ける。	英語 ・共通テストの過去問題や類似問題に数多く当たることによって、問題に慣れ、時間の感覚を身に付ける。
	12	冬期講習		
三 学 期	1	15, 16日 共通テスト		
	2			
	3			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

国語：昨年度より使用している古文・漢文のテキストは適宜活用し、必要であれば持参してください。

英語：講習を受けていれば成績が上がるものではありません。伸びるかどうかは家や寮でこれくらい自ら取り組むか次第です。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
進学講習 (数学 IA)	2	3年・I類・A, B, C型	選択
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	なし	Study-Up ノート数学 IA・リンク数学演習 IA (数研出版)	

科目の到達目標
・基礎～標準の問題演習で、数学 IA の総復習及び授業の演習を行う。まずは、定義や定理、公式などの基本的な事項もしっかりと確認する。
さらに、代表的な標準問題を理解し、解法やテクニックを身に付ける。最終的には医療系のレベル入試問題が十分に解けるようになることを目標とする。受講者の入試の終了後は広く受講者を募集し定期考査対策等を行う。

評価の観点と方法について
「関心・意欲・態度」「数学的な見方や考え方」「表現・処理」「意識・理解」の4つの観点に基づいて、平素の学習意欲や学習態度を重要視して、基本的な知識の理解度、技能の習熟度、思考力、表現力を、課題プリント、レポート、小テスト 等で評価する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	数学 IA の問題演習 数と式	公式や定理などの基本事項の確認。 基本問題が解けるようになる。	Study-Up ノートを使い基本事項の確認を行う。	予習、復習を行っているか。
	5	集合と命題 2次関数			
	6	図形と計量 データ分析			
	7	場合の数と確率 図形の性質 整数の性質			
二学期	9	数学 IA の問題演習	標準問題が解けるようになる。	リンクの a 問題と b 問題を使い演習 医療系専門学校の過去問演習	予習、復習を行っているか。
	10				
	11	数 B 演習	受験が終わった生徒が増えると思われるので基礎学力者を対象に授業の補習を行う。 定期考査対策を行う。	その他	授業で学習した問題が、身についているか。 問題を解く力がついているか。
	12				
三学期	1	個別試験対策・授業演習 (学年末考査)	低学力者対象の学力補充	個別試験問題演習	

その他 (履修上の留意点・大学等進学のための学習など)
毎回の授業では、予習してあることを前提とし、問題の解説を進めていく。授業を聞いているだけでは計算力、実力は絶対につかない。やらされる勉強ではなく、自ら自発的・積極的に数多くの問題を解くことによって、入試に対応できる力がついてくる。見せかけの勉強は必要ない。
質問は歓迎する。自分の目標を定め、それに向かって努力して、確実に実力をつけてもらいたい。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
進学講習（英語）	2	3年I類	選択
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	Next Stage	Next Stage マスターテスト、 大学入試過去問題、各種資格試験過去問題集	

科目の到達目標
前半は Next Stage を用いて基礎から応用までの英文法を学習し、後半の入試問題演習に向けて基礎固めを目指す。
夏休みからは実際の大学入試や模試の過去問題を用いて、受験に対応できる総合的な英語力の定着を図る。

評価の観点と方法について
出席状況と積極的な授業参加、および課題や小テストへの取り組みなどをもとに、総合的に評価する。

	月	学習単元・項目	ねらい	方法・活動
一 学 期	4	Next Stage 第1章～第11章	<ul style="list-style-type: none"> 以下の英文法習得を目指す。 時制／態／助動詞／仮定法／不定詞／ 動名詞／分詞／比較／代名詞／関係詞／ 接続詞 	<ul style="list-style-type: none"> Next Stage を使って各自で自宅学習し、 毎時間の小テストで習熟度を確認する。 小テストの問題を用いて重要な文法事項 を解説する。
	5	中間考査		
	6	Next Stage 第12章～第21章	<ul style="list-style-type: none"> 以下の英文法習得を目指す。 前置詞／主語と動詞の一致／疑問文と語順 ／否定・省略・強調／時制の一致と話法／ 動詞の語法／形容詞・副詞の語法／ 名詞の語法／頻出基本イディオム 70 	<ul style="list-style-type: none"> Next Stage を使って各自で自宅学習し、 毎時間の小テストで習熟度を確認する。 小テストの問題を用いて重要な文法事項 を解説する。
	7	期末考査 夏期講習 大学入試問題演習		<ul style="list-style-type: none"> 複数の入試問題を解き、さまざまな問題 形式を知る。演習を通して自分の弱点に 気づき、夏休み中に強化できるよう対策 を考える。

	月	学習単元・項目	ねらい	方法・活動
二 学 期	9	大学入試問題演習	・私立文系大学と看護医療系私立大学の過去問演習	・入試過去問題演習を通して、さまざまな英語を身に付ける。
	10	中間考査		
	11		2学期中間考査以降は「資格試験対策講習」に切り替え、英語検定やTOEICなど各種試験対策を行う。	
三 学 期	12			
	1			
	2			
	3			

【その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)】

主に大学受験に向けて、文法の反復練習や、実際の大学入試問題を用いた問題演習を行います。

英語力はそう簡単に身につくものではありませんが、一度習得すると簡単になくなってしまいうものでもありません。3年間の集大成として、今と未来に役立つ英語を一緒に学びましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
課外講習（英語基礎）	2	3年I類	選択
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	EMPOWER ENGLISH EXPRESSION II		Workbook II / Next Stage New Frame 650/ ユメタン

科目の到達目標
演習や反復練習などを通して、日々の英語の授業内容(主に英表)をしっかりと定着させる。
ユメタンやNext Stageの小テストや教科書の例文の小テストなども行う。

評価の観点と方法について
出席日数及び授業への積極的な参加態度。

	月	学習単元・項目	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	関係代名詞 関係副詞 前置詞と関係代名詞 関係詞の非制限用法 不定詞(副詞的用法) 分詞構文		
	5	副詞節① 副詞節② 《中間考査》 否定語 部分否定 比較①原級/比較級 比較②最上級	・教科書、教科書例文、ワーク ・Next Stage テスト ・教科書例文テスト ・ユメタンテスト	①休まず出席しているか ②授業に積極的に参加しているか ③正しく理解しているか ④予習・復習がなされているか
	6	原級を用いた表現 比較級・最上級を用いた表現 仮定法過去(過去完了) 仮定法を使った表現		
	7	《期末考査》		

	月	学習単元・項目	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	New Frame 650		
		STEP1 時制		
		STEP2 態		
		STEP3 助動詞		
	10	《中間考査》	・教科書、教科書例文、ワーク	①休まず出席しているか
		STEP4 不定詞と動名詞	・Next Stage テスト ・教科書例文テスト	②授業に積極的に参加しているか ③正しく理解しているか
	11	STEP5 不定詞	・ユメタンテスト	④予習・復習がなされているか
	STEP6 動名詞			
	STEP7 分詞			
	12	《期末考査》		
三 学 期	1	STEP9 イディオム	・教科書、教科書例文、ワーク	①休まず出席しているか
		STEP11 比較	・Next Stage テスト	②授業に積極的に参加しているか
		《学年末考査》	・教科書例文テスト	③正しく理解しているか
	2		・ユメタンテスト	④予習・復習がなされているか

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

英語の苦手な部分をしっかりと復習し、新しく習う範囲は日々の予習、復習を欠かさない。また、副教材の参考書で常に知識を広げることが重要です。英語は必ず「暗記」を必要とします。こつこつと積み上げていかなければ、何もしていないのに急に力が着くということは絶対ありません。「第2言語習得」の研究分野では、文法をしっかりと学習することが、言語に対する意識を高め、学習している言語の使用について最終到達点を押し上げるという報告もあります。あくまでも、目的ではなく手段としての文法学習ですが、しっかりと学んで堅牢な英語の土台を築いてください。日々の努力を期待しています。